

～ 注意欠如多動性障害(ADHD)の患者の皆様へ ～

本邦では ADHD の薬物療法は、小児(18 歳未満)・成人両者に投与できる薬剤が 3 剤、小児のみに投与可能な薬剤が 1 剤あります。

一方、薬物治療を行う前に心理社会的治療(環境調整、行動療法、ソーシャルスキルトレーニング、ペアレントトレーニング(小児のみ))を行うことが推奨されています。

しかし、一般外来の枠組の中で、心理社会的治療を行うことは現実的にはなかなかハードルが高いことも事実です。

そこで当院では、ADHD の方向けの心理社会的治療の冊子を作成いたしました。

ADHD の患者の皆様には、受付よりお配りする予定です。

この冊子も完璧なものではありませんので、定期的に内容のバージョンアップを行おうと考えております。

また、さらに進んだ心理社会的治療を、提携する「きしろ心理相談室」にて行っております。

ご希望の方は受付職員までお尋ねください。

きしろメンタルクリニック
院長